

編集室

テレビ会議のすすめ2

ブロードバンド・インターネットを利用したテレビ会議のすすめを、地区医師会に紹介して早2年半。昨年の11月に「編集室」でもご紹介しました。

日本医師会が新しいテレビ会議を採用しました(詳細は広島県医師会速報第1899号 平成17年4月5日号に掲載)。実際の運用は今秋からだそうですが、簡単にご紹介します。

・NTT、日立、エーゼット社の3社でデモ。エーゼット社の能力があらゆる面で優れていた。
 ・システムは三つの能力(1. 少人数での会議、2. 講義式の質問を受けられる伝達講習会、3. DVDのような映像の配信)ができることを要する。
 ・ほとんどの都道府県医師会に光ファイバーが導入され(一部ADSL)、今回のシステムは充分な能力を発揮する。
 ・都道府県医師会のメンテナンス

は不要で、エーゼット社のデータセンター内にて一括管理し、都道府県医師会に訪問してメンテナンスするようなことはない。

・利用の流れは、まず会議の主催者がインターネットに接続し、IDとパスワードを入力し会議を設定する。会議の開催は開始時間、終了時間、参加メンバーをインターネットの操作で選択し、確定すると会議の参加メンバーにメールが送信され、参加メンバーは送られてきたメールのアドレスをクリックするだけで会議に参加することができる。

・Windows 98以上(できれば2000かXP)のパソコンがあればプロジェクトなどに接続して会議に使える。
 ・ADSL以上のインターネット回線とパソコンがあればカメラ(1万円)、マイク(3千円)程度で参加することができる。

・資料もパワーポイント、ワード、エクセルを共有することができインターネットページを表示させる機能もある。

・インシャルコストは1300万円弱、ランニングコストは次年度から60ライセンスで440万円、ライセンス120で約600万円。

・エーゼット社は、日医白クマ通信を行っている会社。親会社はジャスタック上場の株式会社フォーバルで、資本金41億円、社員1千名。

・5年後に新しいシステムに乗り換えやすいものとして採用。忙しい診療の中、真に勉強したい医師会員の期待や、診療を休んで会議に参加せざるを得ない役員の方のご苦勞に心えられるシステムにしていたきたいものです。

日医採用のBMeetingの説明は、<http://www.maplan.co.jp/bmeeting.html>をご覧ください。
 (野村真哉)

広島県医師会速報 2005年(平成17年)5月5日

発行所 / 社団法人 広島県医師会
 〒733-8540 広島市西区観音本町一丁目1番1号 TEL.082-232-7211 FAX.082-293-3363

編集者 / 広島県医師会長 碓井 静 照

印刷所 / レタープレス株式会社
 〒739-1752 広島市安佐北区上深川町809番地の5 TEL.082-844-7500 FAX.082-844-7800